

リワーク支援における 利用者とのかかわりについて

第14分科会

○ 角 智宏（鹿児島県 社会福祉法人清流苑 本部長）

鹿児島県出水(いずみ)市

人口 51,436人(令和6年9月 現在)

位置 鹿児島県の北西部

東経130度14分～130度30分

北緯31度58分～32度10分に位置

陸の三方を阿久根市, 薩摩川内市, さつま町, 伊佐市および熊本県水俣市に接し, 北西は八代海(不知火海)に臨む。

面積・ひろがり

面積は, 329.98平方キロメートル, 東西への広がり約27キロメートル, 南北の広がり約23キロメートルになる。



日本最大のツル渡来地



日本有数の武家屋敷群

社会福祉法人清流苑 概要

○多機能型事業所 紫尾の里

…自立訓練(生活訓練)(定員6名)

…就労継続支援B型 (定員14名)

○やはす園…就労継続支援A型 (定員20名)

○共同生活援助事業所 一ツ葉 (ひとつば) (定員9名)

○就労定着支援事業所NEXTAGE



社会福祉法人清流苑 概要

○多機能型事業所 紫尾の里

…自立訓練(生活訓練)(定員6名)

…就労継続支援B型 (定員14名)

○やはす園…就労継続支援A型 (定員20名)

○共同生活援助事業所 一ツ葉 (ひとつば) (定員9名)

○就労定着支援事業所NEXTAGE



○多機能型事業所 百花（もか）

…自立訓練（機能訓練）（定員6名）

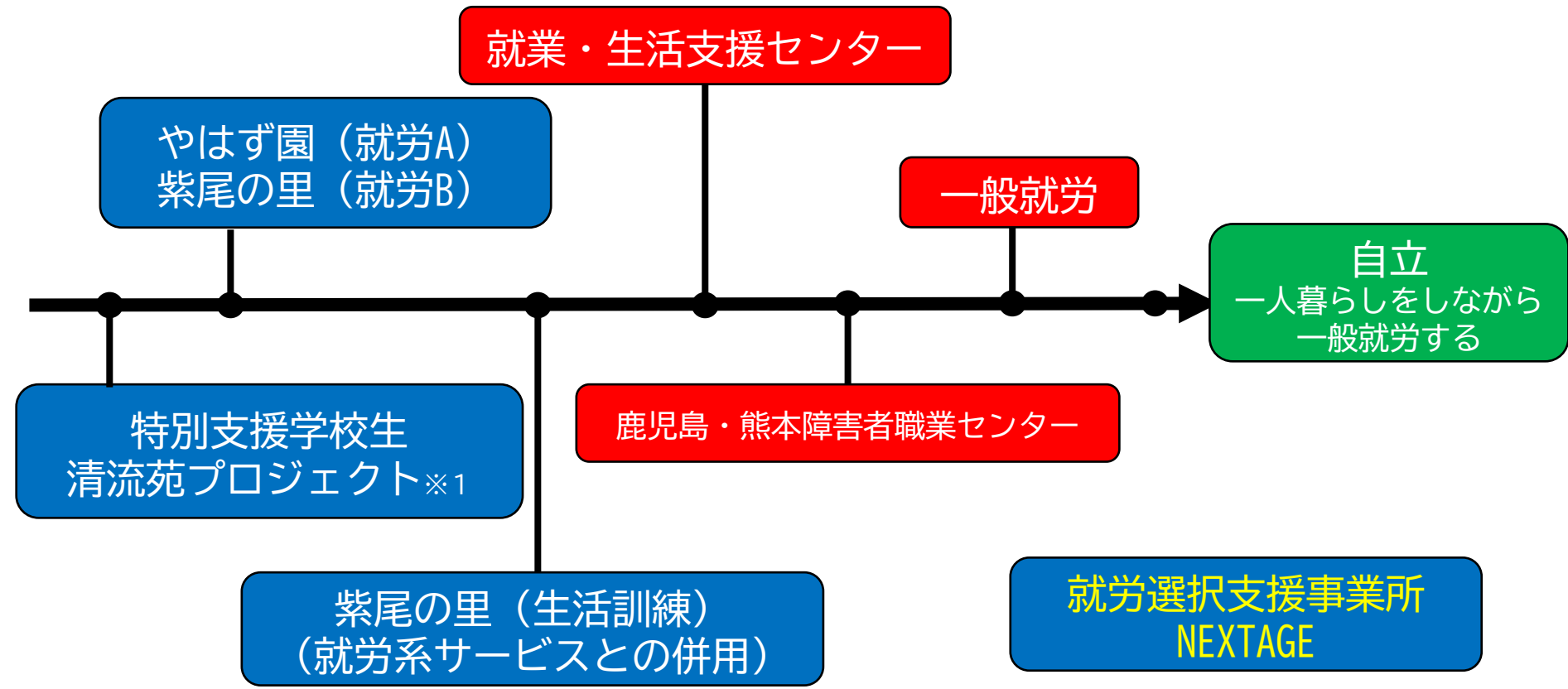
…就労継続支援B型（定員14名）

○生活介護事業所 心楽（こくら）（定員20名）

○共同生活援助事業所 百楽（もらく）（定員10名）



キャリア教育の観点から支援学校在籍時より，学校と連携してキャリア教育を行い，福祉サービス利用終了後も，継続してサポートを行うことができる事業所です。
(キャリアコンサルタントが在籍しています)



※1 清流苑プロジェクト…特別支援学校向け就労・宿泊体験事業

Aさんの概略

- ・ 支援学校卒業後，当法人（就労A・共同生活援助）へ入職。
- ・ おとなしい性格
- ・ 意志の表出は少ないが，言葉かけをすると反応はある。
- ・ 遅刻や欠席はほとんどない
- ・ 車が好き。免許取得もした。
- ・ 趣味はスマホのゲームなど
- ・ 日ごろの移動は自転車

Aさんの転機

- ・当初はリサイクルの分別作業だったが，施設外就労先の変更により，一時はB型への移行も検討。
- ・現在の施設外先がAさんに合って，主力として活躍中。
- ・昨年9月に祖母が逝去
- ・1か月近く落ち込んでいたが，仕事には出ていた。
- ・9月末～10月初旬に暴れたり，迷惑行為をおこなって苦情が上がるようになった。

入院前のAさんの様子

- ・ 大声で叫ぶ
- ・ 仲間の部屋に入り，ベッドで横になる
- ・ トイレに入っている人を閉じ込める
- ・ 洗面台で水浸しになりながら髪や顔を洗う
- ・ 部屋のドアや，壁を叩く

※元々，異変を感じていたこと（一部）

- ・ 反応が鈍い（聞いているのか不明）
- ・ 会話がかみ合わなかった
- ・ 時間に遅れることが多くなった

まず取り組んだこと（入院前）

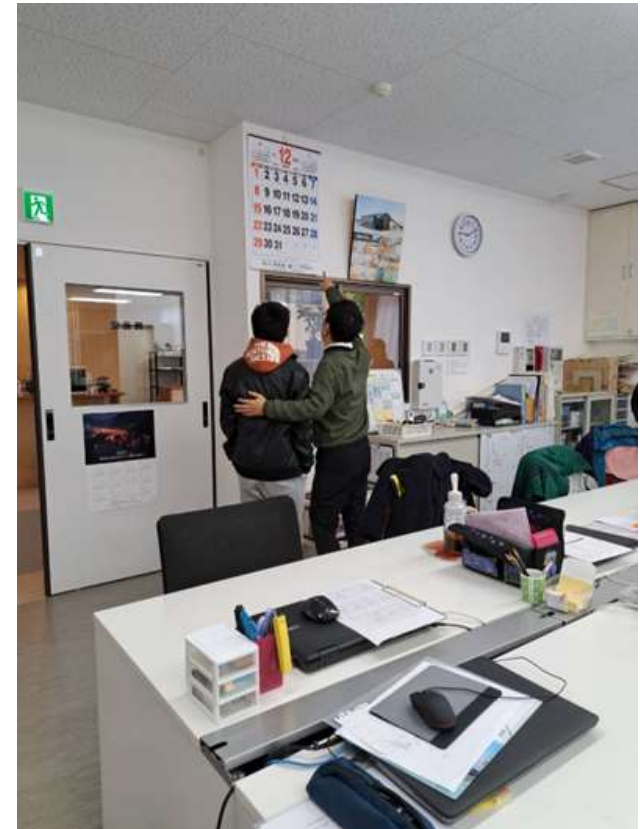
- ・ 本人への確認（今の気分，気になることなど）
- ・ 周囲への聞き取り

（施設外先の様子，世話人勤務後の様子，休みの日の様子など）

- ・ 関係機関への連絡
（相談支援員，家族）
- ・ 緊急時の連携体制の見直し
- ・ 地元の心療内科への受診
- ・ 地元の精神科への受診

入院中に取り組んだこと

- ・ 面会時の本人への確認
（今の気分，気になることなど）
- ・ 関係機関への連絡
（病院の相談員，相談支援専門員，
家族，法人内連携）
- ・ 緊急時の連携体制の見直し
- ・ 複数回における一時帰宅支援
- ・ GHメンバーとの波長合わせ



退院後の様子

- ・ Aさんは退院後、現在まで比較的安定して仕事や生活を送ることができている。
- ・ Aさんが退院した後を見込んで、事前にいろいろな準備をしてきたことが上手くいっている部分と、医療機関との連携を密にしていた点がある。
- ・ 担当の先生から「苦しくなったらいつでも連絡して、来ていいからね」とアドバイス



Aさんは、まず自分の事業所でリハビリを行った。いきなり施設外先に出してしまうと、目が届かなかったり、本人も不安になってしまうかもしれないという配慮のもと、企業も交えたリワーク支援を行った。

メンタルヘルス・ファーストエイド

- ・ 専門家の支援が提供される前にどのような支援を提供すべきか、どのように行動すべきか、という対応法を身につけるものがメンタルヘルス・ファーストエイドである。
- ・ 日ごろからどこに専門家がいて、社会資源として何があるかを知っておく必要があり、ネットワークの構築に取り組んでおくと、スムーズにつながることができると改めて感じた。



Aさんとの今後

- ・ 課題解決に向けて
- ・ 「働きたい」という思いを尊重していくこと
- ・ Aさんの継続就労，自己管理支援（体調・服薬等）に向けて
- ・ 強みを生かした「できること」の自己理解に向けて
- ・ Aさんの勤務する企業成長につながる支援
- ・ 今後の職業生活設計を共に考えていく